

日露投資フォーラムにおける齋藤大使ご挨拶(案)

日時:9月6日(水)10時15分～10時20分(5分間、日/露同時通訳付)

ご臨席の皆様、ただいまご紹介頂きました駐露大使の齋藤です。

本年5月に駐露大使に就任いたしまして、わずか4ヶ月後に「日露投資フォーラム」という、日露間の経済関係にとって記念すべきフォーラムで挨拶させて頂くことを心より嬉しく思います。今回のフォーラムには、アンドロソフ経済発展貿易省次官、クレバノフ北西連邦管区大統領全権代表、マトヴィエンコ・サンクトペテルブルク市知事を始めとしてロシア政治・経済界の重責を担っておられる方々に出席頂いておりますし、日本からも松経済産業副大臣をはじめ、そうそうたる顔ぶれの皆様にご出席になっておられます。私としては、日本経済界の中でロシアに対する関心がかつて無い高まりを見せていることを実感すると共に、駐露大使としての重責を改めて感じる次第です。

近年の日露関係は、2003年1月に小泉総理とプーチン大統領との間で採択された「日露行動計画」に沿って、幅広い分野で拡大・発展してきております。7月には、当地サンクトペテルブルクでG8サミットが開催され、この際、日露首脳会談が行われましたが、この会談の席上、両首脳は「行動計画」に沿って両国関係が拡大・発展していることを再確認しました。「貿易経済分野の協力」はこの「行動計画」の柱の一つです。私も、駐露大使として、日露関係発展の流れを一層確かなものにするべく尽力したいと思います。

先ほどの松経済産業副大臣のご挨拶にもありましたとおり、日露関係の中でも貿易・経済関係の拡大は目覚ましいものとなっております。象徴的な数字ですので繰り返させて頂きたいと思いますが、昨年の両国間の貿易額は100億ドルの大台を突破いたしました。我が国経済の屋台骨とも言える自動車産業など、伝統的に日本が得意とする業種ばかりではなく、近年はロシアに進出する企業の業種も多様化してきております。また、ウラル、ボルガ地域などロシアの地方からの経済ミッションが訪日するなど、新たな動きが見られることを心強く思います。

近年のロシア経済は、高い経済成長を続けております。これには、原油価格の高騰を背景に、資源輸出の拡大がもたらした部分も大きいと考えられますが、ロシア政府は、資源輸出に大きく依存した経済構造の改革にも取り組んでいると承知しています。例えば、関税改革等による積極

的な外資の導入、技術開発、工業生産、観光等に関する経済特区の創設などの様々な施策が展開されております。本日出席されている日本のビジネス界の皆様も、そのようなロシア政府の新しい動きに対し高い関心をお持ちなのではないでしょうか。今回の投資フォーラムのプログラムには、日露ビジネスパートナーシップの形成に関するセッションや、経済特区の視察が含まれていますが、こうした議論や視察は極めて時宜に適ったものであると思います。今回の充実したプログラムを通じて、日本のビジネス界トップの方々がロシアにおける新たなビジネスについての理解を一層深められ、日露ビジネス間の具体的なパートナー作りに資することを願ってやみません。

一方、大使館で仕事をしておりますと、実際にロシアで活躍されている日本企業の関係者の方々から、ビジネスをする上で直面する様々な問題点を指摘されることも少なくありません。日本政府として、今後もロシア政府と協力しつつ、日露間のビジネスが益々活性化していくよう企業の活動を支援して参る所存であります。また、ロシア政府に対しても、両国の経済関係の発展のために、是非ともこうした諸問題の解決に向けた積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

最後になりましたが、今回の「日露投資フォーラム」が、日露経済関係のさらなる発展にとっての起爆剤となること、そして参加される日露双方のビジネス関係者にとって新たな成功につながることを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。(了)